

2006 年度

科目名 授業におけるコンピュータ利用	対象学科・学年 文学部教福3回生 教育教福3回生	担当者 大倉 孝昭
授業テーマ プレゼンテーション技法と評価法を学ぶ		
授業の概要と目標 PowerPoint とプロジェクターを利用し、設定されたテーマに沿ってプレゼンテーションを行なう。他のメンバーはそれを聞き評価項目に沿って評価し、質疑応答を行なう。現在推進中の「教育改革」ミレニアムプロジェクトで 2005 年 を目途に全教員に求められている新しい教育の方法を先取りし、聞く人の立場に立ってわかり易く話すためには何が必要なのかを相互評価を通して学ぶことを目標とする。		
評価方法 プレゼンテーションの設計と表現技術、的確な他者評価ができるかを評価する。各 50%。 リアルタイム評価の結果も重視する（プレゼンスキルが身につくと、発表中にどこが重要かが聴衆にきちんと伝わるため）		
テキスト 「分かりやすい説明」の技術	テキスト 「分かりやすい説明」の技術	テキスト 「分かりやすい説明」の技術
参考書	参考書	参考書
授業スケジュール・内容 1. プレゼンとは何か、PowerPoint の利用法を学ぶ 2. 先輩のプレゼンを参考に「上手なプレゼン」を学ぶ 3. わかりやすいスライドを制作するためのポイント（フォントサイズ、配色、アニメーション、時間配分） 4. 与えられたテーマに沿って、インターネット・文献調査を行ない、論理設計をする 5. 自分の発表につき、論点をまとめ発表原稿・スライドを作る 6. プレゼンテーションを行い、相互評価を実施する（1） 7. プレゼンテーションを行い、相互評価を実施する（2） 8. リアルタイム評価を行って反省する どこを変えればうまく発表できるか検討する 9. 自らテーマを設定し、インターネット・文献調査を行ない、シナリオを設計する 10. スライド作成と発表で何を伝えるか（どこに力を注いだか）を明確にする 11. プレゼンテーションを行い、相互評価を実施する（3） 12. 最初のプレゼンと比較して、どこが改善されたかを評価する 13. プレゼンテーションを行い、相互評価を実施する（4） 14. 多くの人のプレゼンをオンラインで閲覧し、論理展開・プレゼンスキルについて評価する 15. 自分の選んだプレゼンを評価し、それをプレゼンで発表する パソコン・PowerPoint をツールとして使いこなせるようにまず慣れること。 利用ソフト：PowerPoint、Internet Explorer		